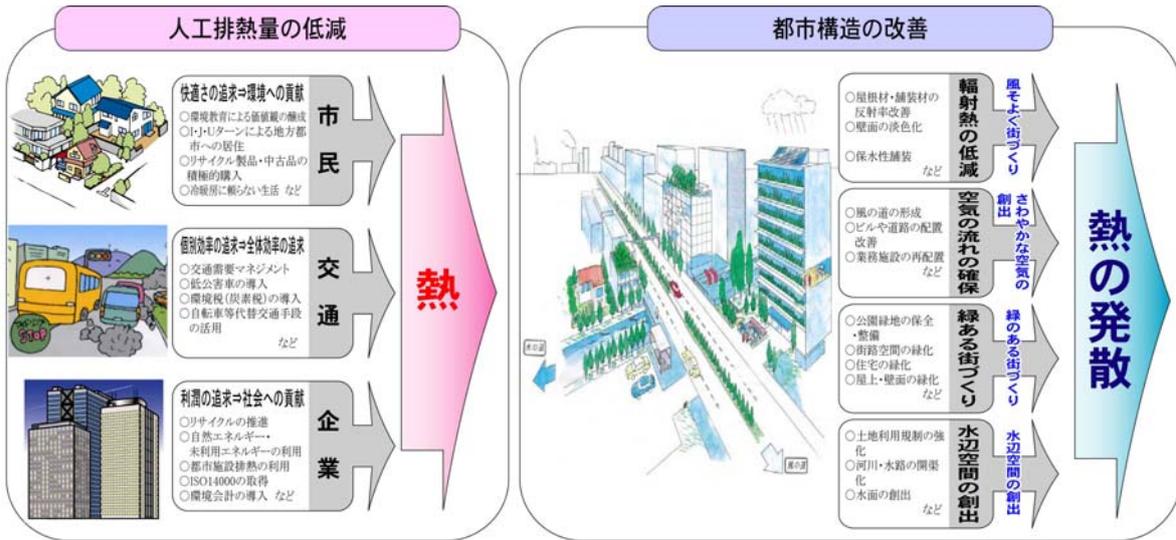


## 2. ヒートアイランド対策の全体像と対策への人々の認識

### 2-1. ヒートアイランド対策の全体像

ヒートアイランド対策を大きく区分すると、以下に示すヒートアイランド対策の全体像に示すように整理される。地表面被覆の改善を含む都市構造の改善に分類される対策は、規制等のこれまでの対策によって対応可能であるが、人工排熱の低減に分類される対策は、市民・企業の価値観・ライフスタイルの変革なしには対応できない対策である。

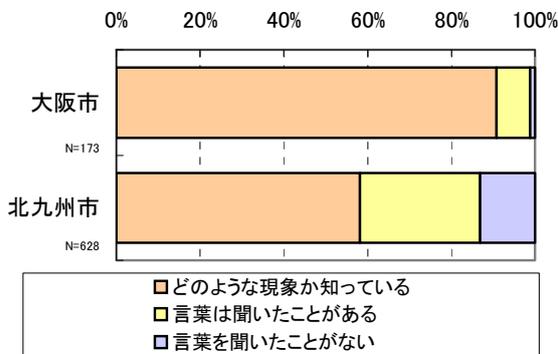
【図 ヒートアイランド対策の全体像】



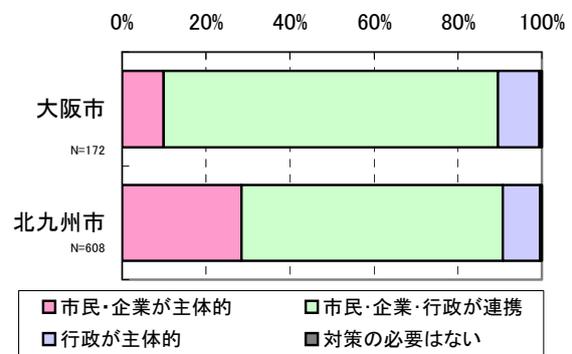
### 2-2. ヒートアイランド対策への人々の意識

ヒートアイランド現象の認知度は、大阪市で約 90%、北九州市で約 60%と高い。また、その対策の取り組みについては、大阪市では約 80%、北九州市では約 60%の人が市民・企業・行政が連携して実施すべきとしており、行政主体とする受動的な考え方から、市民・企業が何らかの形で取り組みに参加する能動的な考え方へと変化しつつある。

【図 ヒートアイランド現象という現象を知っていますか】



【図 ヒートアイランド対策をどのように進めていくべきか】



※備考；大阪市調査：2006. 9 に大阪市西区の住民を対象にアンケート調査を実施。配布は、対象地区の全戸へ配布。配布数 2000 通、回収数 195 通 (10%)  
 北九州市調査：2006. 10、北九州市役所周辺地区において実施されたイベント（エコライフステージ 2006）にて、イベント参加者を対象にアンケート調査を実施。回収数は 681 通  
 （回答者の内、93%が北九州市内在住）